



福島県郡山合同庁舎整備の概要について

令和5年8月 福島県施設管理課



■基本的な考え方

1 県民の利便性に配慮した庁舎

- ・各出先機関を各階に集約します。
- ・吹抜けのエントランスから庁舎内部が見通せる構成とし、分かりやすい動線に配慮します。
- ・エントランス付近に、待ち合い機能に加え、県・市町村の情報発信や県産品の展示など、県民交流の場として活用できる県民ホールを整備します。

2 県民の安全・安心の拠点となる庁舎

- ・大地震時に防災拠点施設としての機能を確保するため、免震構造を採用するとともに、非常用発電機や蓄電池等を設置します。

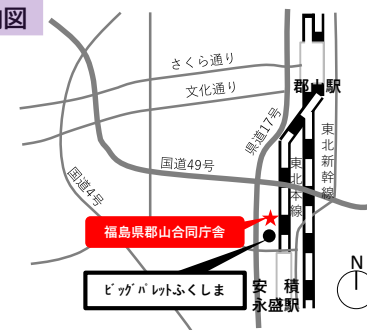
3 人にやさしく、環境に配慮した庁舎

- ・省エネルギーに配慮し、太陽光発電や地中熱による再生可能エネルギーを導入することで、ZEB Ready認証を取得します。
- ・県産木材を内装や外装、造作家具に活用します。

4 社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎

- ・執務室の柱間を約12mの大スパンとし、柱を少なくすることで様々なレイアウトに対応できるフレキシブルな構造とします。
- ・WEB会議に対応した少人数用会議室や来庁者、職員の快適性等に配慮したゆとりあるオープンスペースを各所に整備します。

■案内図



■計画概要

計 画 地：福島県郡山市南一丁目94番
 敷地面積：30,291.18㎡
 建築面積：5,206.04㎡
 延べ面積：10,814.47㎡
 階 数：地上3階建 地下階なし
 構 造：免震構造
 鉄筋コンクリート造＋
 鉄骨造＋木造
 整備事業費：約106億円
 その他：車庫、駐輪場

■建設工程

- ・ 建築、電気設備、機械設備工事を令和5年度、外構工事を令和7年度に着手し、令和7年度内の竣工を目指します。

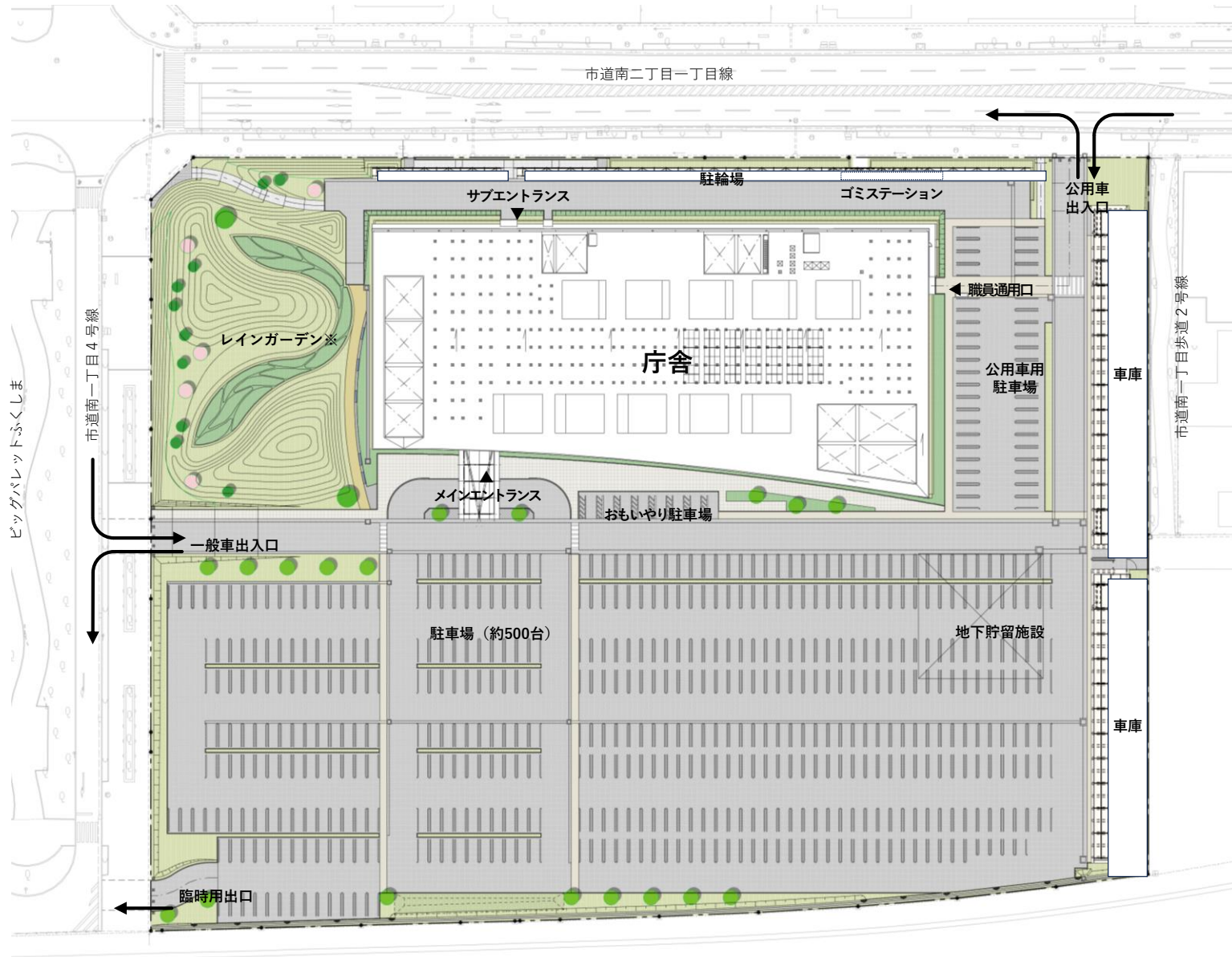
工事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
建築工事	→	→	→
電気設備工事	→	→	→
機械設備工事	→	→	→
外構工事			→

■配置計画

- ・ 冬季に奥羽山脈から吹き下ろす、冷たく強い西風を避けるため、庁舎のメインエントランスを東側としました。
- ・ 一般車と公用車の出入口を分離します。
- ・ 駐車を庁舎メインエントランス付近に、公用車車庫を北側に整備することで利便性が向上します。
- ・ 雨水流出対策として、地下貯留施設等を整備します。

■防災対策

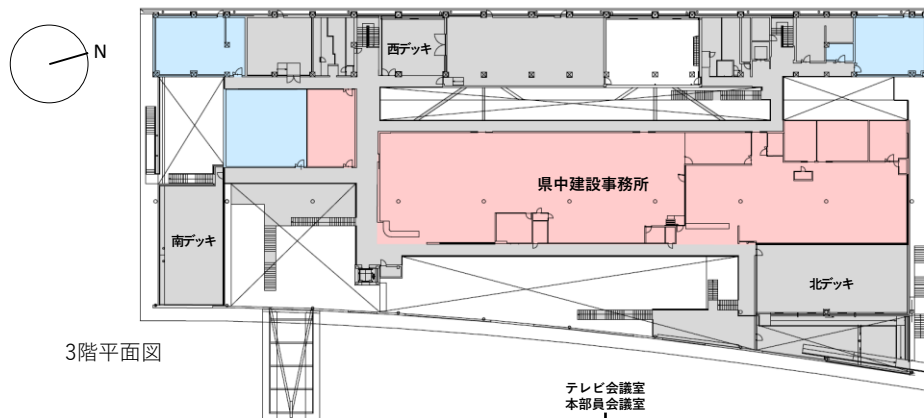
- ・ 非常用発電機、太陽光発電、蓄電池、受水槽及び地下排水槽の導入により、災害時にライフラインが断絶しても防災拠点施設として3日間機能維持できます。



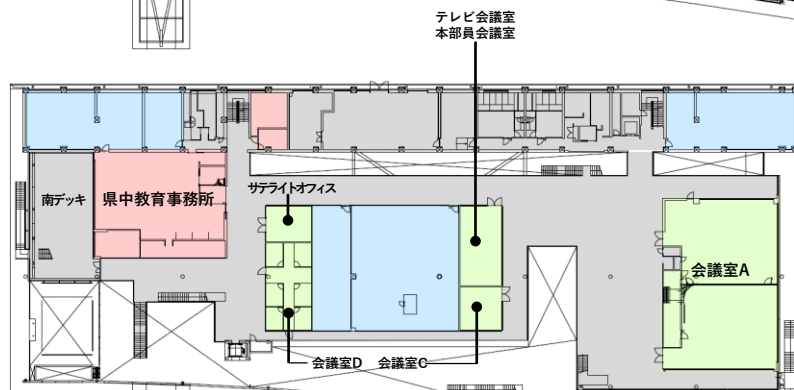
※レインガーデン
 雨水を利用し地域に親しみのある草花を植栽した緑地

JR東北本線

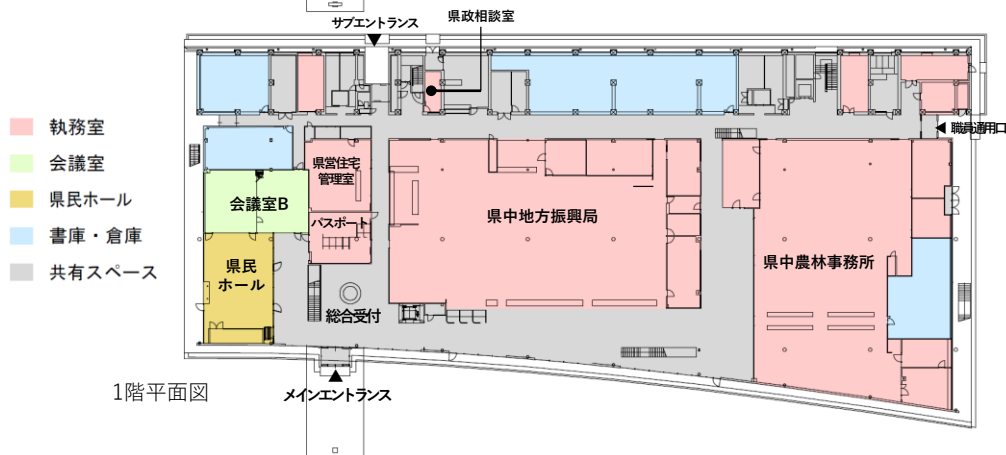




3階平面図



2階平面図



1階平面図

- 執務室
- 会議室
- 県民ホール
- 書庫・倉庫
- 共有スペース



レインガーデンからメインエントランスを見たイメージ



南西より見たイメージ

■電気設備計画

- ・LED照明の集中制御により省エネ化を図ります。
- ・太陽光発電(約60kw)、蓄電池(約60kwh)の導入により、省エネ化や災害時の活用が可能になります。
- ・EV(電気自動車)、PHV(プラグインハイブリッド車)の充放電設備を整備し、災害時にEV等からの電力供給を可能とします。

■機械設備計画

- ・地中熱を空調熱源として利用することにより、省エネ化を図ります。
- ・トイレ洗浄水への雨水利用により、上水使用量の削減を図ります。
- ・BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム: 建物の消費エネルギーを管理するシステム)により、エネルギー使用量を把握・分析し、省エネ化を図ります。